

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2000-14140 (P2000-14140A)
 【公開日】平成 12 年 1 月 14 日 (2000.1.14)
 【出願番号】特願 平 10-176084
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 2 M 3/28

H 0 2 H 3/08

H 0 2 H 3/16

H 0 2 H 9/02

H 0 3 F 1/52

【F I】

H 0 2 M 3/28 H

H 0 2 H 3/08 P

H 0 2 H 3/16 A

H 0 2 H 9/02 B

H 0 3 F 1/52 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 12 日 (2004.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

接地電位を基準として電力供給を行う電源と、
 電源から供給される電力を直流電力に変換するスイッチング電源回路であって、
 1 次側巻線および 2 次側巻線が電氣的に絶縁されるスイッチングトランスと、
 該電源から供給される電力を基に、スイッチングトランスの 1 次側巻線をスイッチング駆動するスイッチング回路と、
 スwitchングトランスの 2 次側巻線に発生するスイッチング出力を、接地電位を基準として整流し、平滑して直流電力を出力する整流平滑回路とを備えるスイッチング電源回路と、
 信号源から発生され、負荷を駆動制御する信号が入力され、該整流平滑回路から出力される直流電力を基に、該信号に応じて該負荷を駆動する負荷駆動回路と、
 該スイッチング電源回路の整流平滑回路の基準電位側と該信号源の基準電位側出力との間の接地経路に流れる電流を検知する電流検知素子と、
 該電流検知素子が検知する電流が予め定める基準を超えると、該負荷駆動回路が該負荷を駆動する出力電流を抑制する保護手段とを含むことを特徴とする負荷駆動回路の保護装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

本発明は、接地電位を基準として電力供給を行う電源と、

電源から供給される電力を直流電力に変換するスイッチング電源回路であって、

1次側巻線および2次側巻線が電氣的に絶縁されるスイッチングトランスと、

該電源から供給される電力を基に、スイッチングトランスの1次側巻線をスイッチング駆動するスイッチング回路と、

スイッチングトランスの2次側巻線に発生するスイッチング出力を、接地電位を基準として整流し、平滑して直流電力を出力する整流平滑回路とを備えるスイッチング電源回路と、

信号源から発生され、負荷を駆動制御する信号が入力され、該整流平滑回路から出力される直流電力を基に、該信号に応じて該負荷を駆動する負荷駆動回路と、

該スイッチング電源回路の整流平滑回路の基準電位側と該信号源の基準電位側出力との間の接地経路に流れる電流を検知する電流検知素子と、

該電流検知素子が検知する電流が予め定める基準を超えると、該負荷駆動回路が該負荷を駆動する出力電流を抑制する保護手段とを含むことを特徴とする負荷駆動回路の保護装置である。